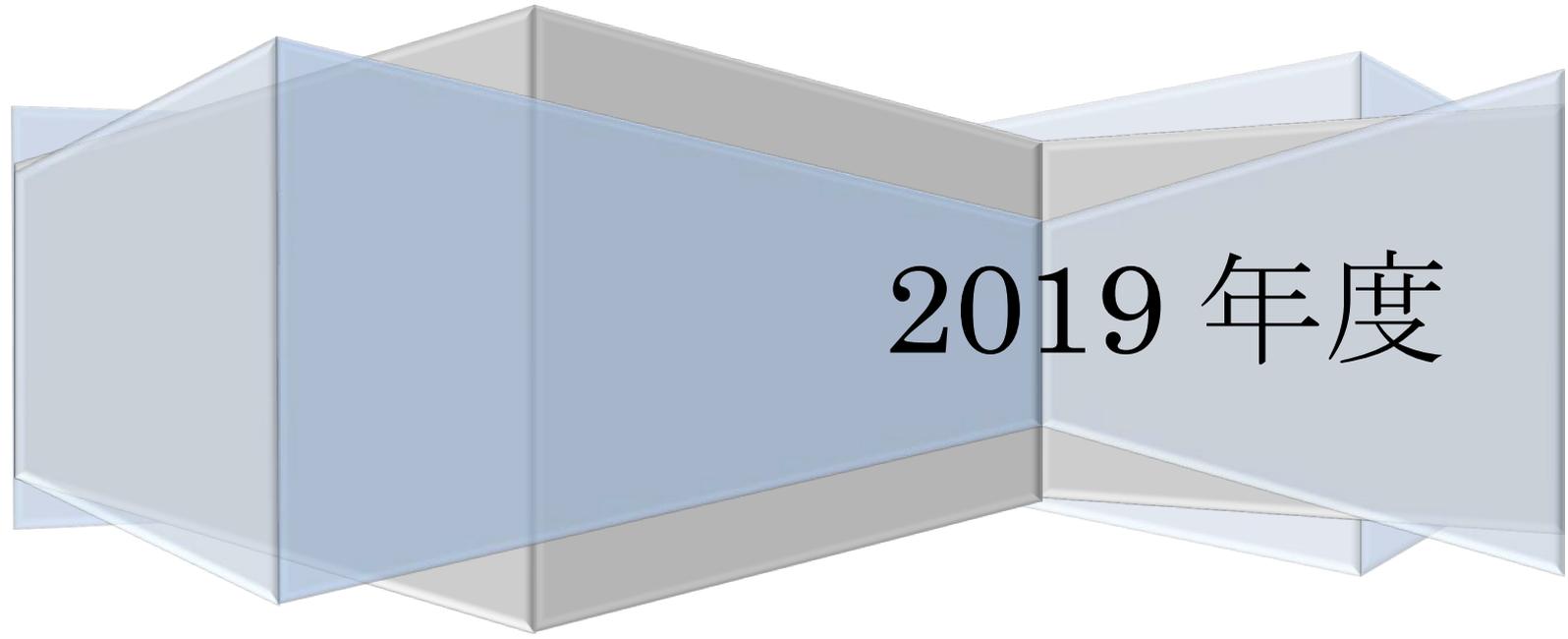


医療法人 高幡会 大西病院

# 日本慢性期医療協会統計



2019 年度

# 令和元年度 日本慢性期医療協会統計 目次

1. 職員のインフルエンザワクチンの接種率
2. 入院時医療区分の3ヶ月後の改善率
3. 肺炎の新規発生率
4. 肺炎の治癒率
5. 尿路感染症の新規発生率
6. 尿路感染症の治癒率
7. 入院時、尿道カテーテルが留置されている患者1ヶ月後の抜去率
8. 糖尿病患者における血糖コントロール(HbA1c)
9. 降圧剤使用患者における血圧コントロール
10. 内服薬定期処方の見直しの平均頻度
11. 注射薬処方の見直しの平均頻度
12. 内服定期薬の平均処方薬剤数
13. 新規褥瘡発生率
14. 褥瘡の治癒率(治療後6カ月以内)
15. 認知症患者への対応
16. 休日を含め適切な頻度でリハビリテーションが提供されているか
17. 十分な時間のリハビリテーションが提供されているか
18. 多職種(リハビリ以外の職種も含めて)によるカンファレンス等にて、  
リハビリテーションの内容、頻度が検討されているか
19. FIM and/or BI等の客観的指標で患者のADL状態  
が把握されているか
20. 全入院患者に対する1ヶ月間の検査未実施率
21. 起炎菌検索と細菌培養感受性検査の実施率
22. 低栄養の改善率
23. 1年以内に経管栄養(中心静脈・胃ろう・経鼻)から  
経口摂取可能になった患者の割合
24. 1ヶ月以内に経管栄養(中心静脈・胃ろう・経鼻)から  
少しでも経口摂取が可能となった患者の割合(1口でも可)
25. 転倒・転落などによる重症事故の発生率
26. 入院患者のうち急性期病院からの新規紹介入院患者数(紹介率)
27. 在宅からの新規入院患者数(居宅系施設等を含む)
28. 在宅復帰率(居宅系施設等を含む)
29. 多職種による退院カンファレンスを実施しているか

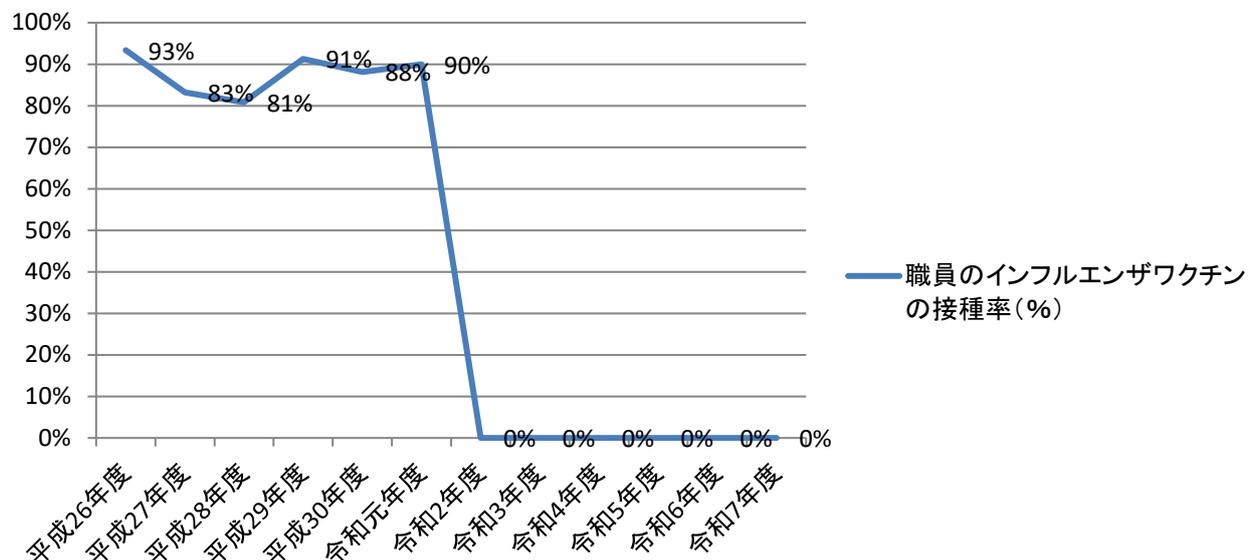
# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

## 職員のインフルエンザワクチンの接種率

$$\text{ワクチン接種率} = \frac{C(\text{自院内にてインフルエンザワクチンを接種した職員数})}{B(\text{ワクチン接種最終日の職員数})} \times 100$$

年度	ワクチン接種最終日の職員数(人)	自院内にてインフルエンザワクチンを接種した職員数(人)	職員のインフルエンザワクチンの接種率(%)
平成26年度	151	141	93%
平成27年度	149	124	83%
平成28年度	141	114	81%
平成29年度	138	126	91%
平成30年度	135	119	88%
令和元年度	130	117	90%
令和2年度			
令和3年度			
令和4年度			
令和5年度			
令和6年度			
令和7年度			
合計/平均	844	741	

## 職員のインフルエンザワクチンの接種率(%)



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

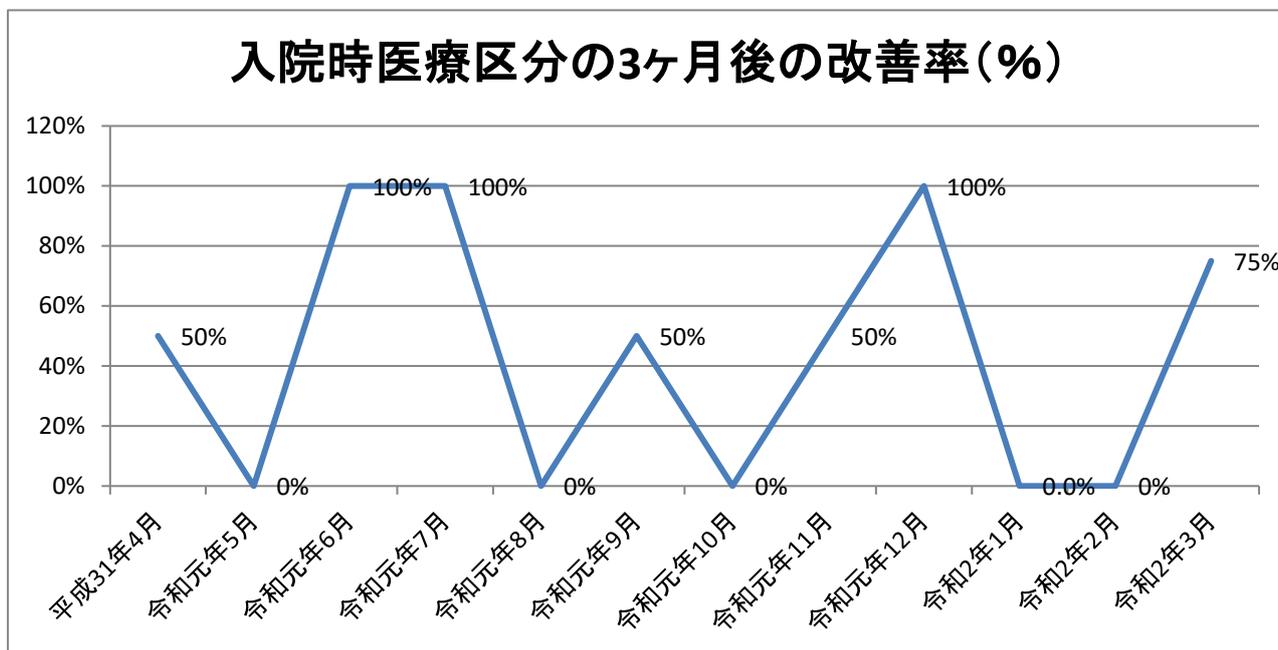
1. 評価期間中に退院(転棟、死亡含む)した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0(ゼロ)」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-1-1

### 入院時医療区分の3ヶ月後の改善率 (算定期間に限りのない区分の患者は除く)

$$\text{入院時医療区分の3ヶ月後の改善率} = \frac{C(\text{医療区分の改善した患者数})}{B(\text{医療区分の変化(改善+悪化)患者数})} \times 100$$

令和元年度	医療区分の変化した(改善+悪化)患者数(人)	医療区分の改善した患者数(人)	入院時医療区分の3ヶ月後の改善率(%)
平成31年4月	4	2	50%
令和元年5月	3	0	0%
令和元年6月	1	1	100%
令和元年7月	1	1	100%
令和元年8月	1	0	0%
令和元年9月	2	1	50%
令和元年10月	1	0	0%
令和元年11月	2	1	50%
令和元年12月	1	1	100%
令和2年1月	0	0	-
令和2年2月	1	0	0%
令和2年3月	4	3	75%
合計/平均	21	10	48%



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

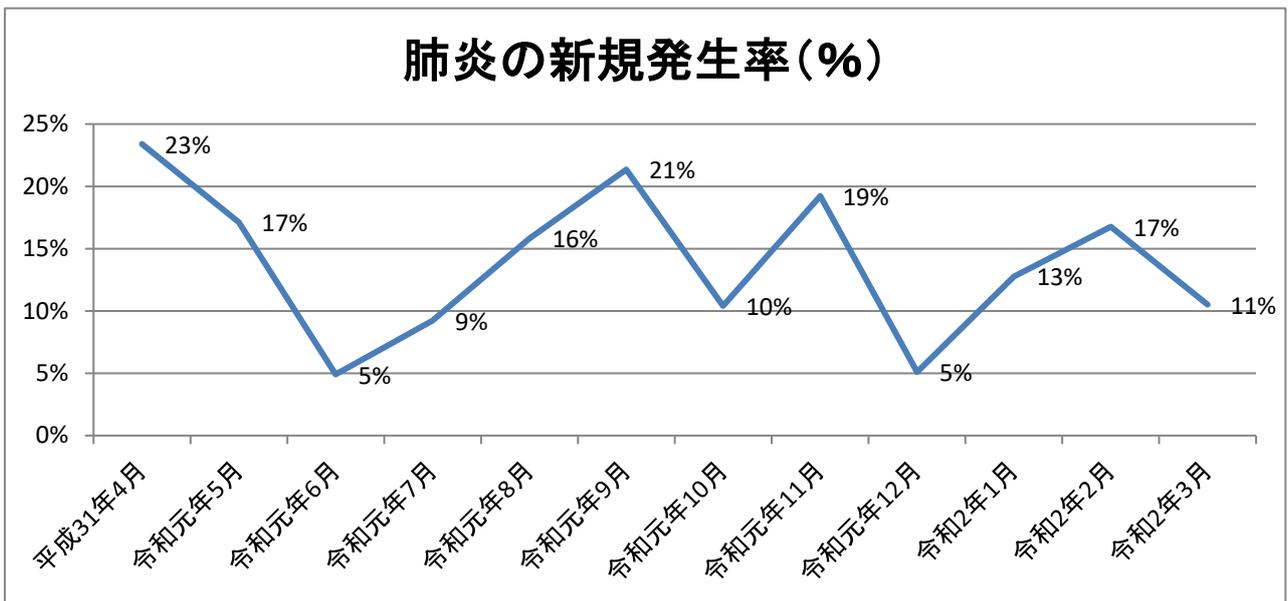
## 2-1-2

### 肺炎の新規発生率

（肺炎治療目的の入院は除く。初発・再発は問わない）

肺炎の新規発生率 = C（1ヶ月あたりの肺炎新規発生患者数）  
/ B（1日あたりの平均入院患者数） × 100

令和元年度	1日あたりの平均入院患者数(人) (医療)	1ヶ月あたりの肺炎新規発生患者数(人)	肺炎の新規発生率(%)
平成31年4月	38	9	23%
令和元年5月	41	7	17%
令和元年6月	41	2	5%
令和元年7月	43	4	9%
令和元年8月	38	6	16%
令和元年9月	37	8	21%
令和元年10月	38	4	10%
令和元年11月	36	7	19%
令和元年12月	39	2	5%
令和2年1月	39	5	13%
令和2年2月	42	7	17%
令和2年3月	38	4	11%
年間平均	39	5	14%



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

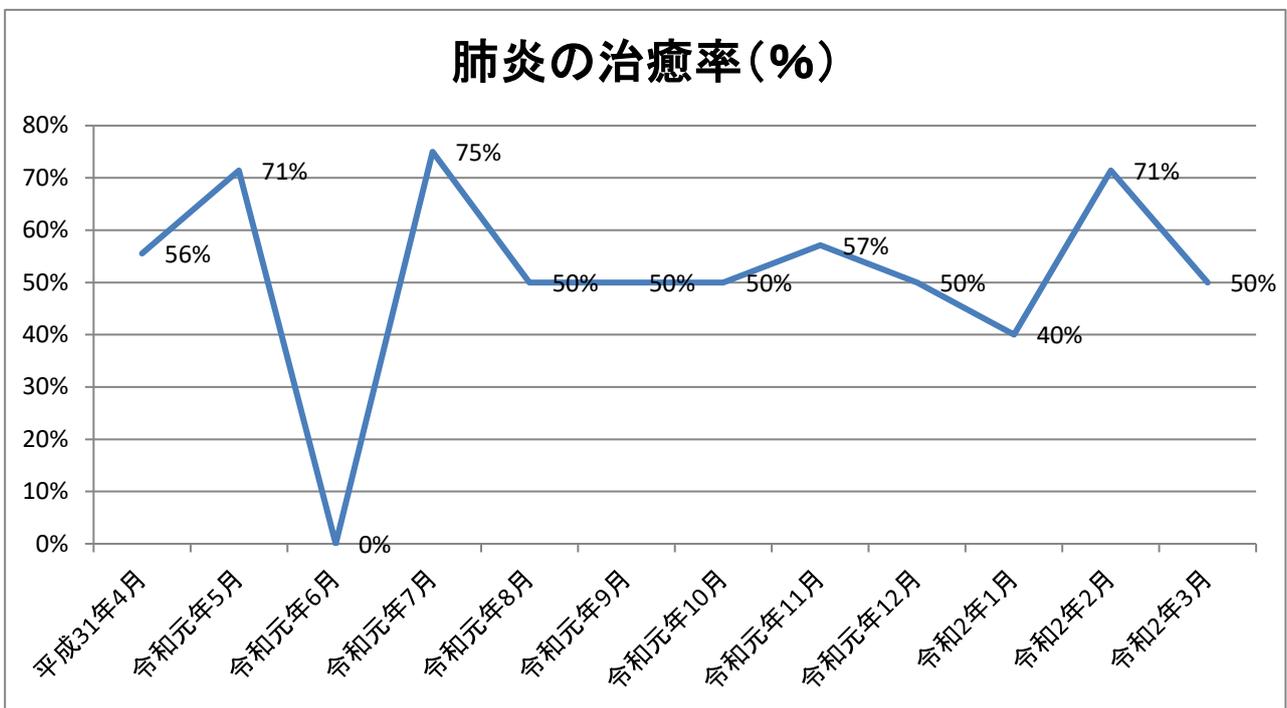
**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-1-3 肺炎の治癒率

肺炎の治癒率 = C(1ヶ月あたりの肺炎の治癒が確認された患者数) / B(1ヶ月あたりの肺炎の治療を実施した患者数) × 100

令和元年度	1ヶ月あたりの肺炎の治療を実施した患者数	1ヶ月あたりの肺炎の治癒が確認された患者数	肺炎の治癒率(%)
平成31年4月	9	5	56%
令和元年5月	7	5	71%
令和元年6月	2	0	0%
令和元年7月	4	3	75%
令和元年8月	6	3	50%
令和元年9月	8	4	50%
令和元年10月	4	2	50%
令和元年11月	7	4	57%
令和元年12月	2	1	50%
令和2年1月	5	2	40%
令和2年2月	7	5	71%
令和2年3月	4	2	50%
年間平均	5.42	3.00	55%



# 日本慢性期医療協会

## 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

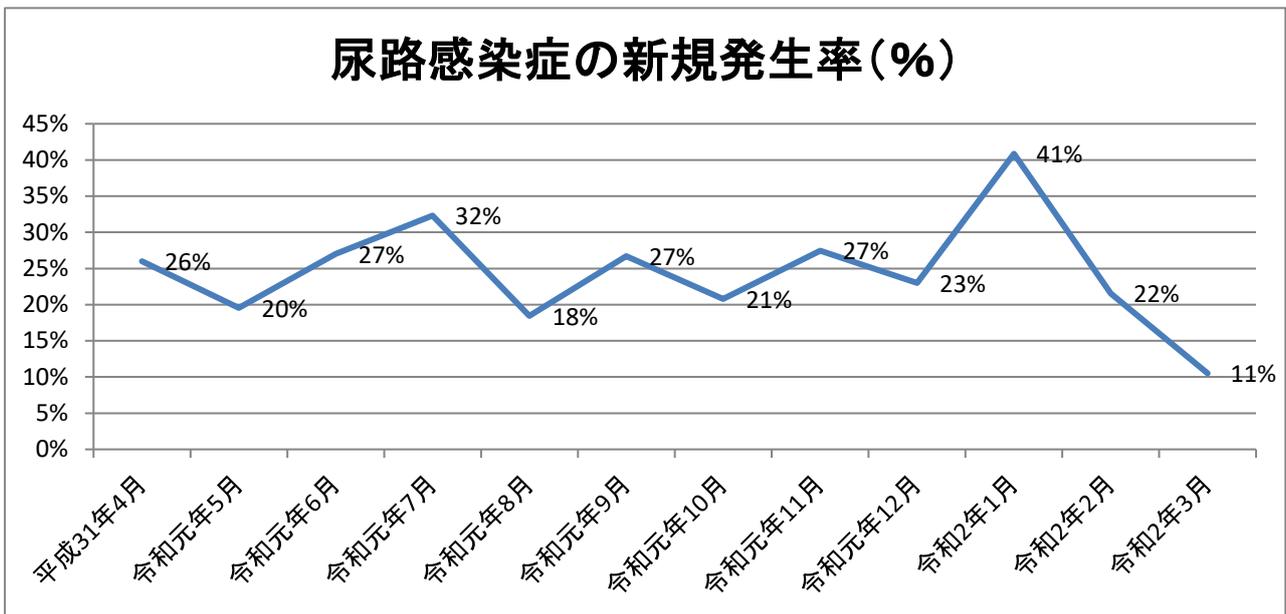
### 2-1-4

#### 尿路感染症の新規発生率

（尿路感染症治療目的の入院は除く。初発・再発は問わない）

尿路感染症の新規発生率＝C（1ヶ月あたりの尿路感染症新規発生患者数）  
 /B（1日あたりの平均入院患者数）×100

令和元年度	1日あたりの平均入院患者数(人) (医療)	1ヶ月あたりの尿路感染症新規発生患者数(人)	尿路感染症の新規発生率(%)
平成31年4月	38	10	26%
令和元年5月	41	8	20%
令和元年6月	41	11	27%
令和元年7月	43	14	32%
令和元年8月	38	7	18%
令和元年9月	37	10	27%
令和元年10月	38	8	21%
令和元年11月	36	10	27%
令和元年12月	39	9	23%
令和2年1月	39	16	41%
令和2年2月	42	9	22%
令和2年3月	38	4	11%
年間平均	39	10	25%



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

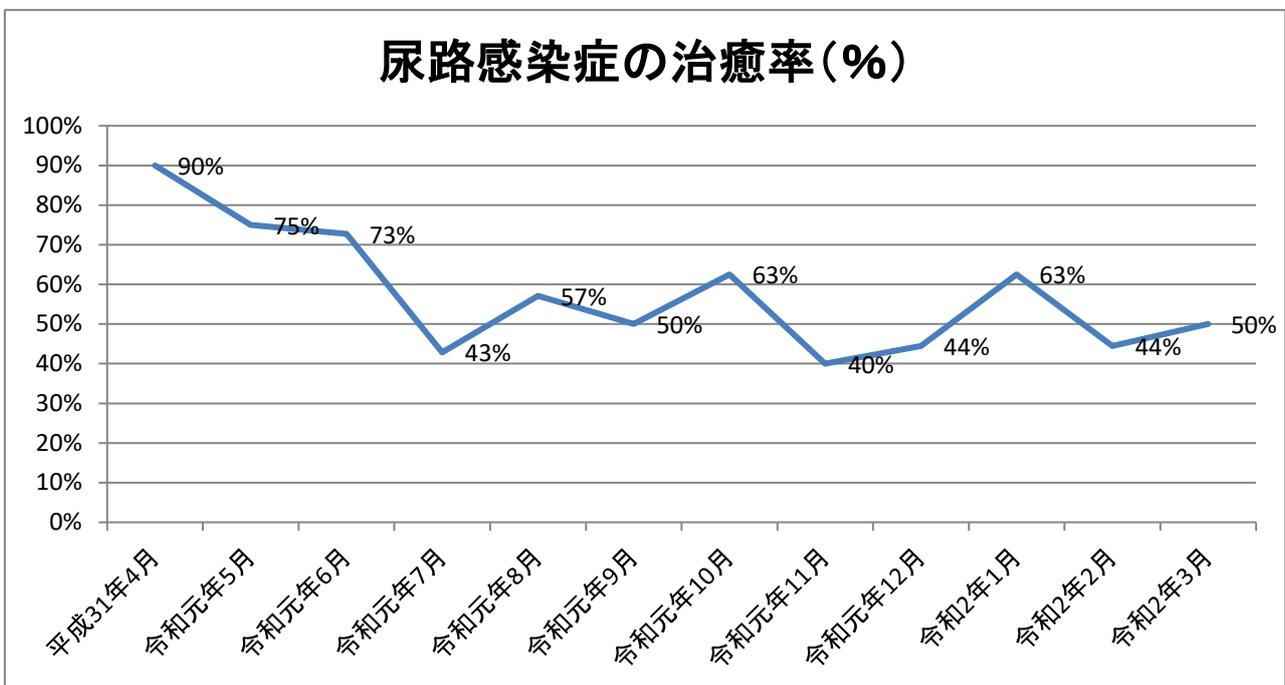
## 2-1-5

### 尿路感染症の治癒率

尿路感染症の治癒率 = C（尿路感染症の治癒が確認された患者数）

／ B（尿路感染症の治療を実施した患者数） × 100

令和元年度	尿路感染症の治療を実施した患者数(人)	尿路感染症の治癒が確認された患者数(人)	尿路感染症の治癒率(%)
平成31年4月	10	9	90%
令和元年5月	8	6	75%
令和元年6月	11	8	73%
令和元年7月	14	6	43%
令和元年8月	7	4	57%
令和元年9月	10	5	50%
令和元年10月	8	5	63%
令和元年11月	10	4	40%
令和元年12月	9	4	44%
令和2年1月	16	10	63%
令和2年2月	9	4	44%
令和2年3月	4	2	50%
合計/平均	116	67	58%



## 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

### 2-1-6

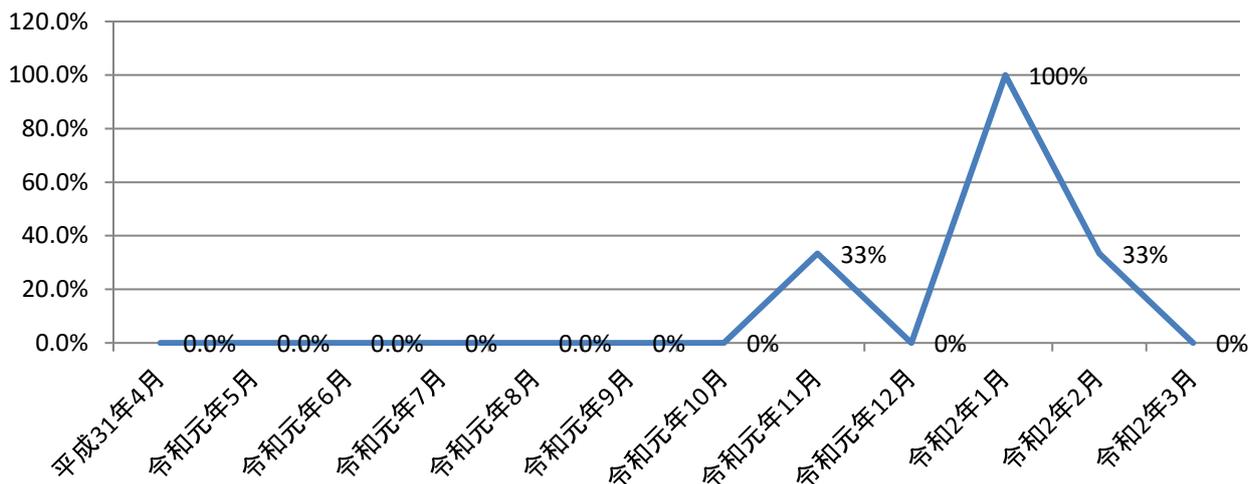
### 入院時、尿道カテーテルが留置されている患者1ヶ月後の抜去率

尿カテ1ヶ月後抜去率 = C（1ヶ月後に尿道カテーテルが抜去されている患者数）

/ B（入院時尿道カテーテルが留置されていた患者数） × 100

令和元年度	入院時尿道カテーテルが留置されていた患者数(人)	1ヶ月後に尿道カテーテルが抜去されている患者数(人)	入院時、尿道カテーテルが留置されている患者の1ヶ月後の抜去率(%)
平成31年4月	0	0	-
令和元年5月	0	0	-
令和元年6月	0	0	-
令和元年7月	1	0	0%
令和元年8月	0	0	-
令和元年9月	1	0	0%
令和元年10月	3	0	0%
令和元年11月	3	1	33%
令和元年12月	3	0	0%
令和2年1月	2	2	100%
令和2年2月	3	1	33%
令和2年3月	1	0	0%
合計/平均	17	4	24%

### 入院時、尿道カテーテルが留置されている患者の 1ヶ月後の抜去率(%)



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

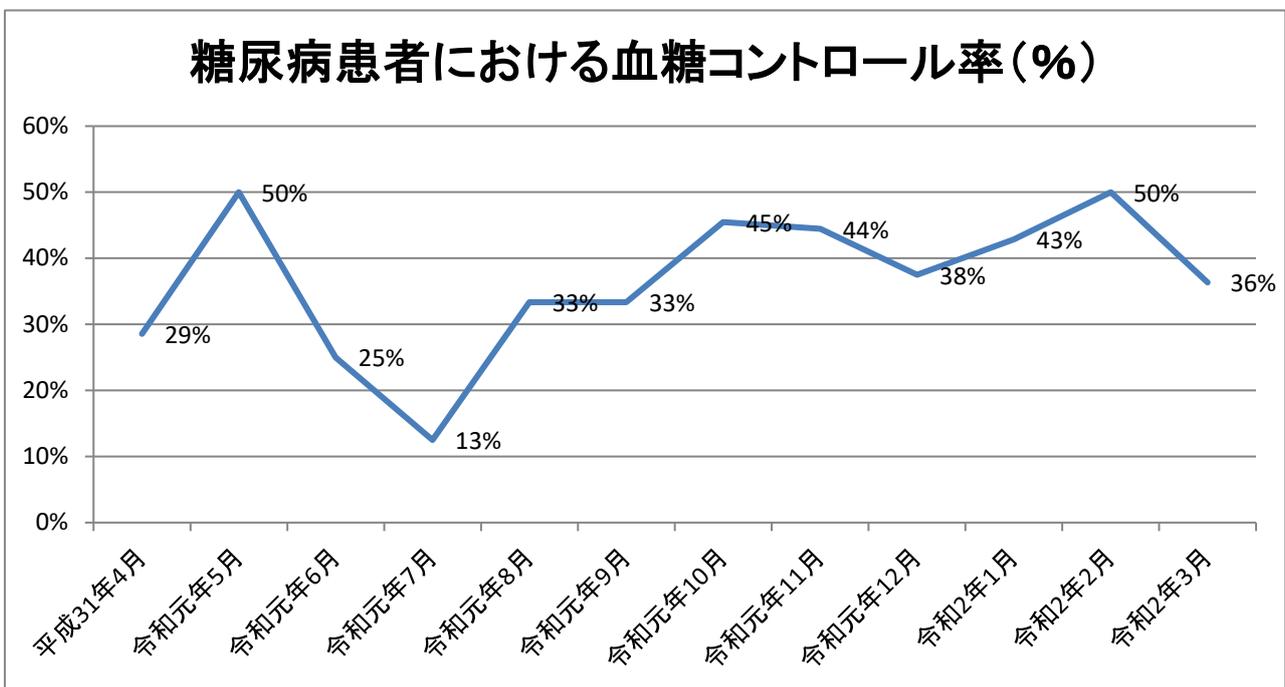
**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-1-8 糖尿病患者における血糖コントロール（HbA1c）

血糖コントロール率 = C（HbA1cのコントロール目標が達成されている患者数）  
/ B（インスリン製剤または経口血糖降下剤を処方されている患者数） × 100

令和元年度	インスリン製剤または経口血糖降下剤を処方されている患者数(人)	HbA1cのコントロール目標が達成されている患者数(人)	糖尿病患者における血糖コントロール率(%)
平成31年4月	7	2	29%
令和元年5月	6	3	50%
令和元年6月	8	2	25%
令和元年7月	8	1	13%
令和元年8月	9	3	33%
令和元年9月	9	3	33%
令和元年10月	11	5	45%
令和元年11月	9	4	44%
令和元年12月	8	3	38%
令和2年1月	7	3	43%
令和2年2月	12	6	50%
令和2年3月	11	4	36%
合計/平均	105	39	37%



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

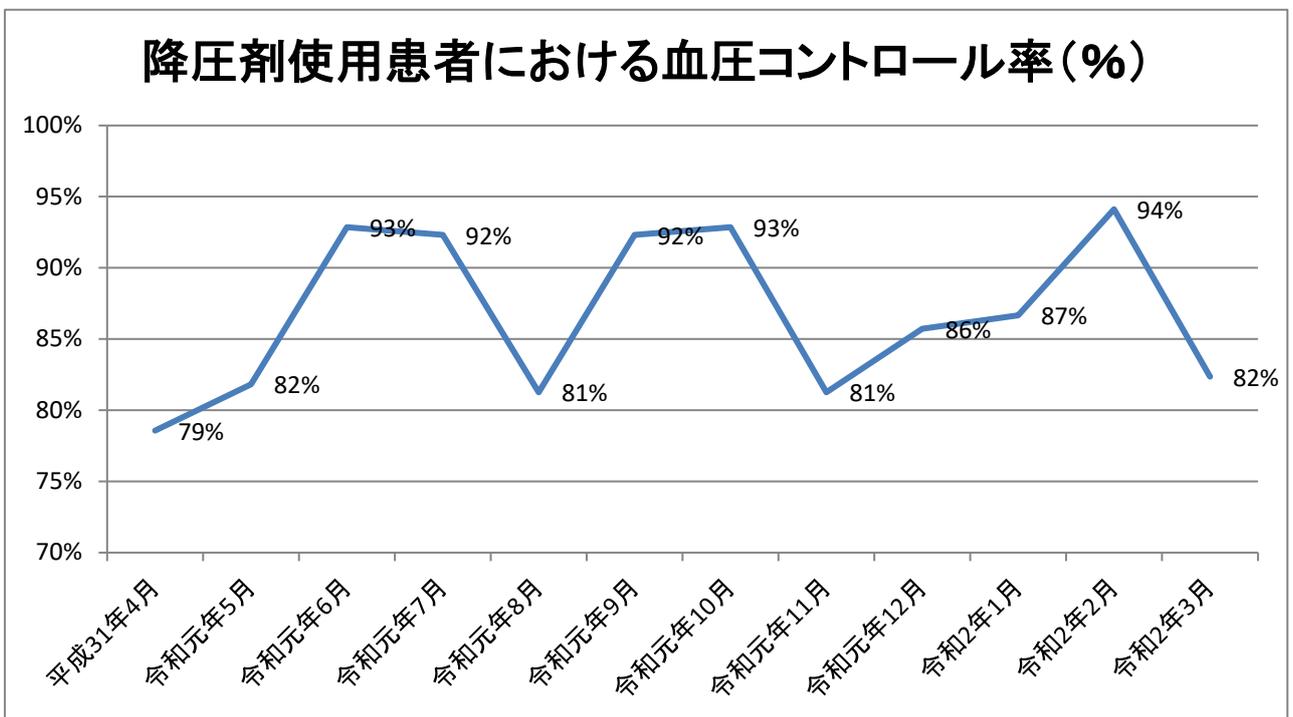
**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-1-9 降圧剤使用患者における血圧コントロール

血圧コントロール患者数 = C(血圧が目標値以下の患者数)  
/ B(降圧剤が処方されている患者数) × 100

令和元年度	降圧剤が処方されている患者数(人)	血圧が目標値以下の患者数(人)	降圧剤使用患者における血圧コントロール率(%)
平成31年4月	14	11	79%
令和元年5月	11	9	82%
令和元年6月	14	13	93%
令和元年7月	13	12	92%
令和元年8月	16	13	81%
令和元年9月	13	12	92%
令和元年10月	14	13	93%
令和元年11月	16	13	81%
令和元年12月	14	12	86%
令和2年1月	15	13	87%
令和2年2月	17	16	94%
令和2年3月	17	14	82%
合計/平均	174	151	87%



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

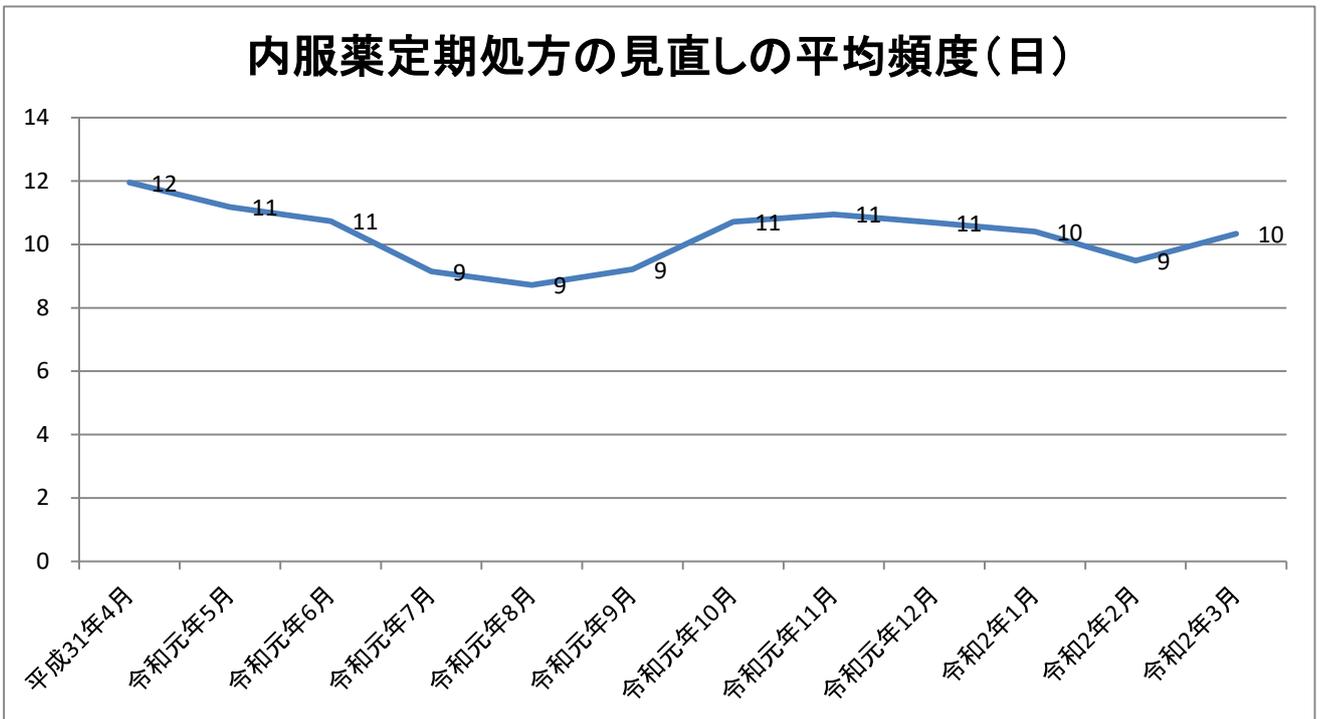
**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-2-1 内服薬定期処方の見直しの平均頻度

1ヶ月間の患者1人あたり処方箋枚数 = C(1カ月間の内服定期薬処方箋枚数) / B(内服定期薬投与患者数)  
見直しの頻度(日) = D(1カ月の日数(日)) / E(1ヶ月の患者1人あたり処方箋枚数)

令和元年度	内服定期薬投与患者数(人)	1カ月間の内服定期薬処方箋枚数(枚)	一カ月の日数(日)	1ヶ月間の患者1人あたり処方箋枚数(枚)	内服薬定期処方の見直しの平均頻度(日)
平成31年4月	51	128	30	3	12
令和元年5月	44	122	31	3	11
令和元年6月	44	123	30	3	11
令和元年7月	36	122	31	3	9
令和元年8月	36	128	31	4	9
令和元年9月	43	140	30	3	9
令和元年10月	47	136	31	3	11
令和元年11月	50	137	30	3	11
令和元年12月	50	145	31	3	11
令和2年1月	50	149	31	3	10
令和2年2月	52	159	29	3	9
令和2年3月	43	129	31	3	10
合計/平均	546	1618	366	36	10



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

## 【注】

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-2-2

### 注射薬処方の見直しの平均頻度

1週間の患者1人あたり処方箋枚数 = C(1週間の注射薬処方箋枚数) / B(注射薬投与患者数)

見直しの頻度(日) = D(1週間の日数(日)) / E(1週間の患者1人あたり処方箋枚数)

令和元年度	注射薬投与患者数(人)	1週間の注射薬処方箋枚数(枚)	一週間の日数(日)	1週間の患者1人あたり処方箋枚数(枚)	注射薬処方の見直しの平均頻度(日)
1週間	16	213	7	13	1.9

# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

## 【注】

- 1.評価期間中に退院(転棟、死亡含む)した患者は原則として評価対象から除く。
- 2.分母が「0(ゼロ)」の場合は「NA」とする。
- 3.評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-2-3

### 内服定期薬の平均処方薬剤数

内服定期薬の平均処方薬剤数 =  $C(1週間の内服定期薬の投与薬剤数合計) / B(1週間の内服定期投与延べ患者数)$

令和元年度	1週間の内服定期投与延べ患者数(人)	1週間の内服定期薬の投与薬剤数合計(剤)	内服定期薬の平均処方薬剤数(剤)
1週間	343	2963	9.0

# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

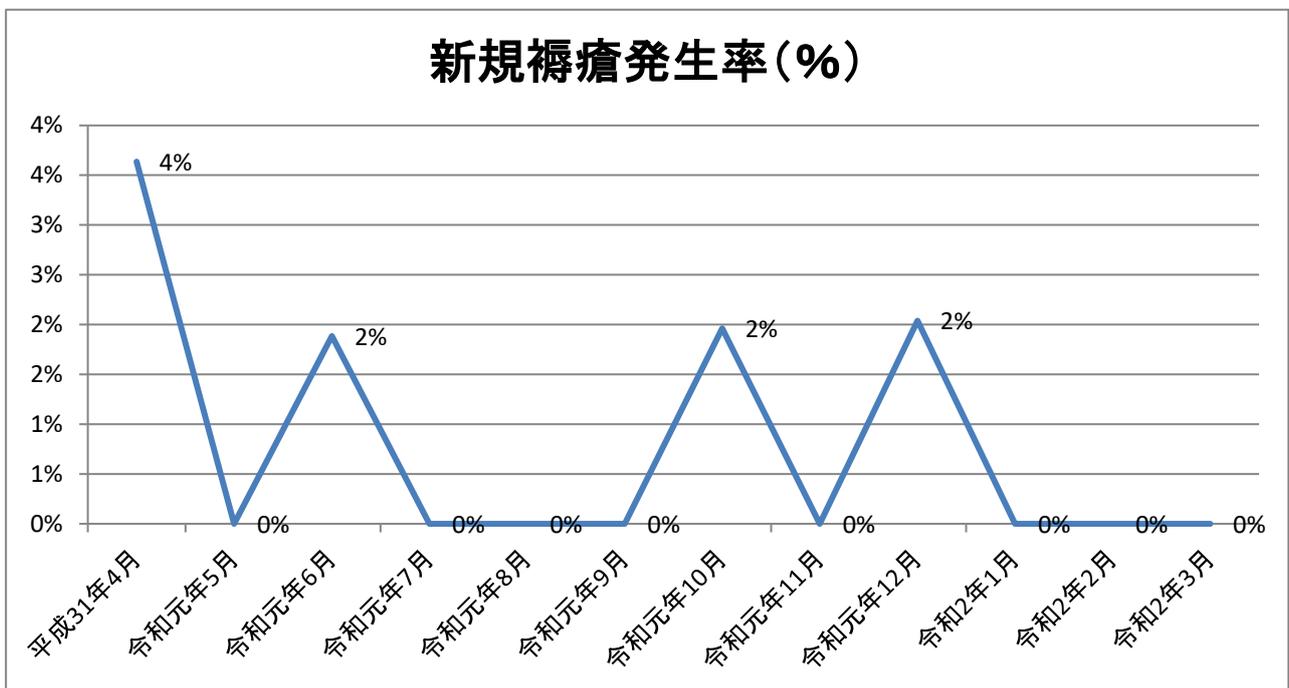
**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-3-4 新規褥瘡発生率

新規褥瘡発生率 = C（分母のうち、d2以上の褥瘡の院内新規発生患者数）  
/ B 調査月の新入院患者数 + 当月1日現在患者数） × 100

令和元年度	調査月の新入院患者数 + 当月1日現在患者数	分母のうち、d2以上の褥瘡 の院内新規発生患者数 (人)	新規褥瘡発生率(%)
平成31年4月	55	2	4%
令和元年5月	56	0	0%
令和元年6月	53	1	2%
令和元年7月	54	0	0%
令和元年8月	49	0	0%
令和元年9月	50	0	0%
令和元年10月	51	1	2%
令和元年11月	52	0	0%
令和元年12月	49	1	2%
令和2年1月	52	0	0%
令和2年2月	54	0	0%
令和2年3月	47	0	0%
年間平均	52	0.42	1%



# 日本慢性期医療協会

## 慢性期医療の Clinical Indicator (病棟臨床指標)

**【注】**

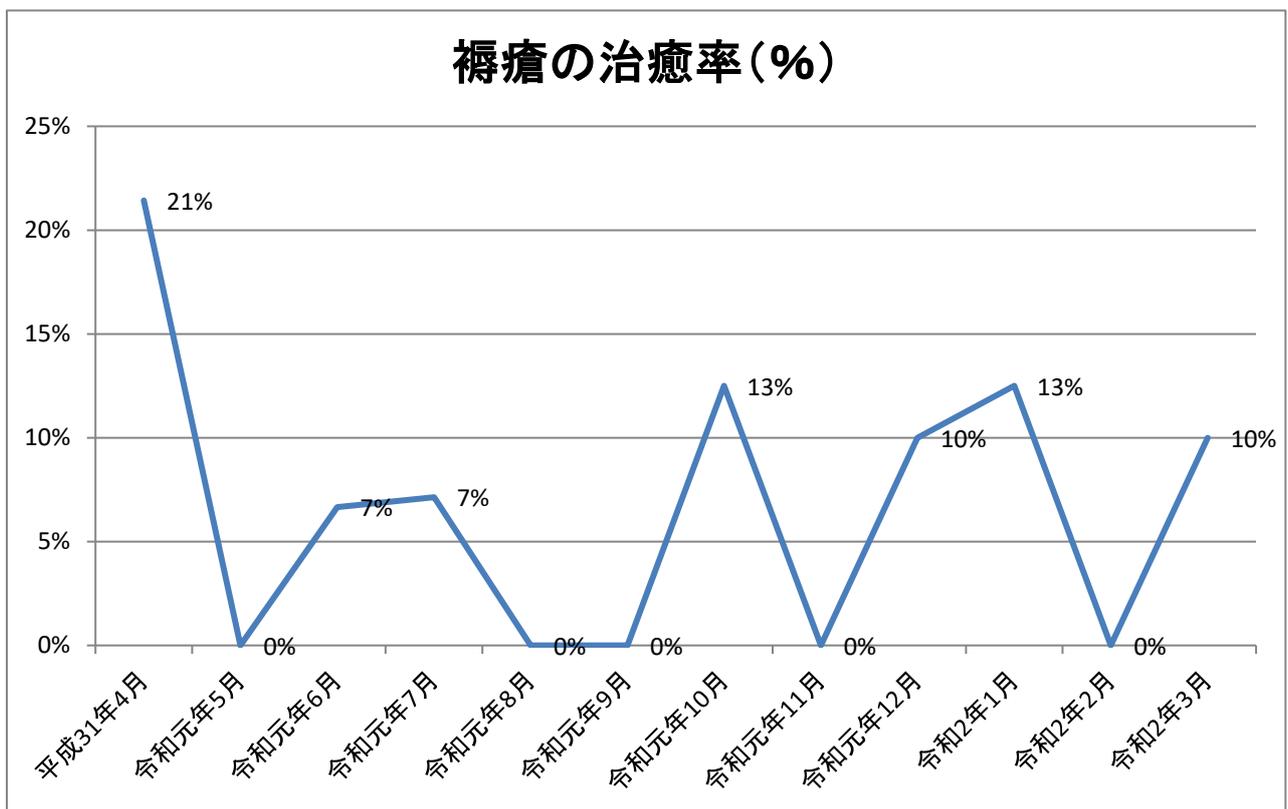
1. 評価期間中に退院(転棟、死亡含む)した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0(ゼロ)」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

### 2-3-5

### 褥瘡の治癒率(治療後6カ月以内)

褥瘡の治癒率 = C(治癒患者数) / B(全褥瘡患者数) × 100

令和元年度	全褥瘡患者数(人)	治癒患者数(人)	褥瘡の治癒率(%)
平成31年4月	14	3	21%
令和元年5月	11	0	0%
令和元年6月	15	1	7%
令和元年7月	14	1	7%
令和元年8月	12	0	0%
令和元年9月	9	0	0%
令和元年10月	8	1	13%
令和元年11月	10	0	0%
令和元年12月	10	1	10%
令和2年1月	8	1	13%
令和2年2月	9	0	0%
令和2年3月	10	1	10%
合計/平均	130	9	7%



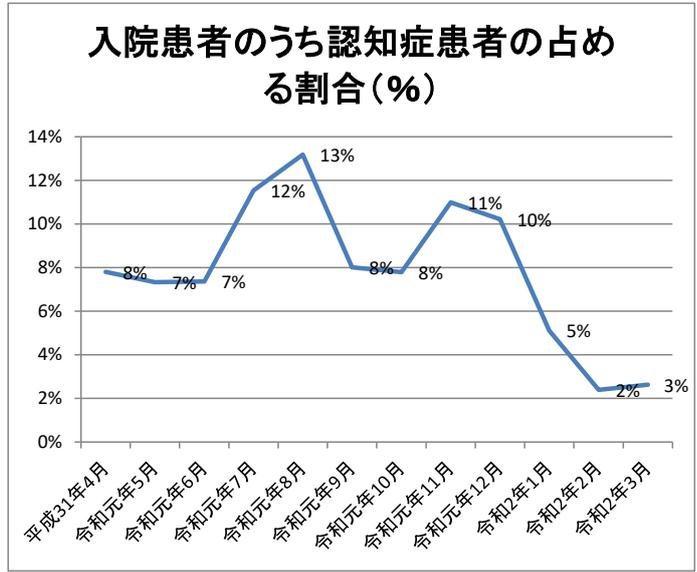
**日本慢性期医療協会**  
**慢性期医療の Clinical Indicator (病棟臨床指標)**

- 【注】 1.評価期間中に退院(転棟、死亡含む)した患者は原則として評価対象から除く。  
2.分母が「0(ゼロ)」の場合は「NA」とする。  
3.評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

**2-3-8**  
**認知症患者への対応**

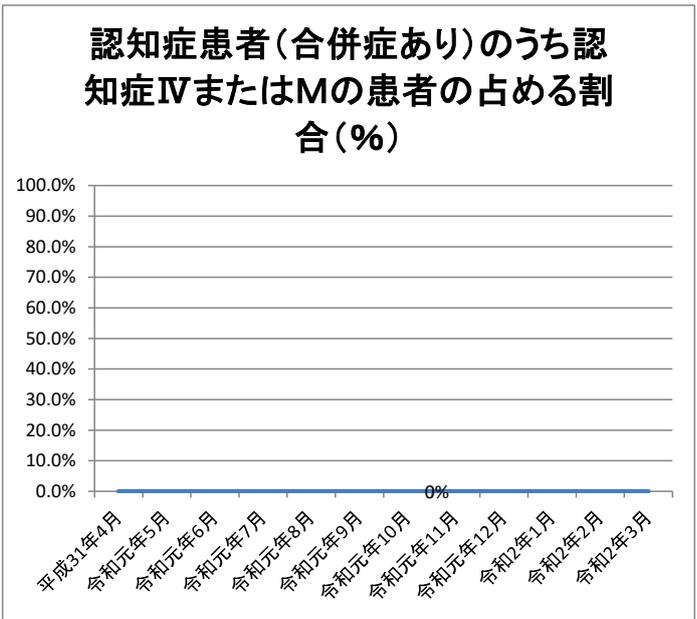
認知症高齢者の日常生活自立度ⅣまたはⅢの患者の占める割合＝C(認知症ⅣまたはⅢの患者数)/B(平均入院患者数)×100

令和元年度	平均入院患者数(人) (医療)	認知症ⅣまたはⅢの患者数(人)	入院患者のうち認知症患者の占める割合
平成31年4月	38	3	8%
令和元年5月	41	3	7%
令和元年6月	41	3	7%
令和元年7月	43	5	12%
令和元年8月	38	5	13%
令和元年9月	37	3	8%
令和元年10月	38	3	8%
令和元年11月	36	4	11%
令和元年12月	39	4	10%
令和2年1月	39	2	5%
令和2年2月	42	1	2%
令和2年3月	38	1	3%
合計/平均	472	37	8%



重症認知症患者の身体合併症(肺炎・尿路感染症・褥瘡・脱水など)に対する治療が自院で可能である＝C(分母の中での認知症ⅣまたはⅢの患者数)/B(認知症の身体合併症治療目的の新規入院患者数)×100

令和元年度	認知症の身体合併症治療目的の新規入院患者数(人) (医療)	分母の中での認知症ⅣまたはⅢの患者数(人)	認知症患者(合併症あり)のうち認知症ⅣまたはⅢの患者の占める割合
平成31年4月	0	0	-
令和元年5月	1	0	0%
令和元年6月	0	0	-
令和元年7月	0	0	-
令和元年8月	0	0	-
令和元年9月	0	0	-
令和元年10月	1	0	0%
令和元年11月	1	0	0%
令和元年12月	0	0	-
令和2年1月	0	0	-
令和2年2月	0	0	-
令和2年3月	2	0	0%
合計/平均	5	0	0%



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

**領域4【リハビリテーション】**

- 【注】**1. 評価基準は、回復期リハビリテーション病棟とその他の病棟では異なる。  
（ ）内の数字は回復期リハビリテーションにおける基準である。
2. 評価は直近で調査できる月とする。

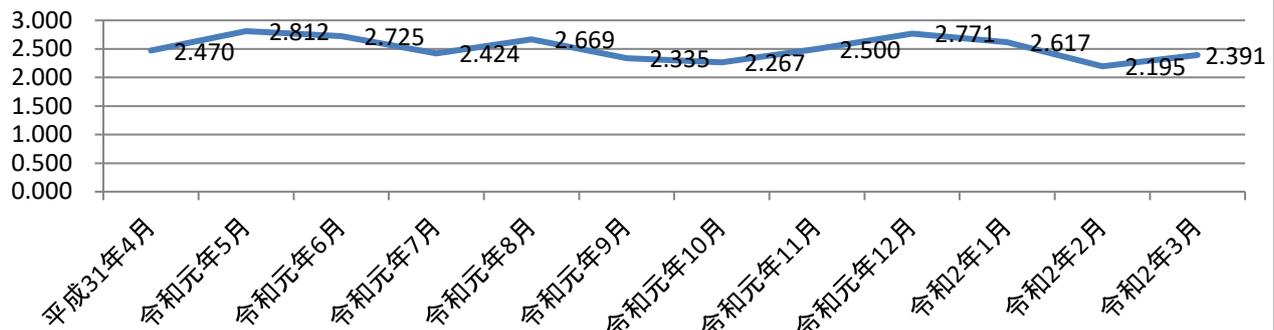
## 2-4-1

### 休日を含め適切な頻度でリハビリテーションが提供されているか

リハビリテーション平均実施率 = C(実施対象者における個別療法実施延べ日数) / B(1日あたりの平均入院患者数) ÷ 4

令和元年度	1日あたりの平均入院患者数(人)	実施対象者における個別療法実施延べ日数(日)	1週間に入院患者1人あたりのリハビリテーション実施日数(日)
平成31年4月	38	380	2.470
令和元年5月	41	460	2.812
令和元年6月	41	444	2.725
令和元年7月	43	420	2.424
令和元年8月	38	405	2.669
令和元年9月	37	350	2.335
令和元年10月	38	349	2.267
令和元年11月	36	364	2.500
令和元年12月	39	434	2.771
令和2年1月	39	410	2.617
令和2年2月	42	367	2.195
令和2年3月	38	364	2.391
年間平均	39	396	2.515

### 1週間に入院患者1人あたりのリハビリテーション実施日数(日)



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

**領域4【リハビリテーション】**

- 【注】**1. 評価基準は、回復期リハビリテーション病棟とその他の病棟では異なる。  
（ ）内の数字は回復期リハビリテーションにおける基準である。  
2. 評価は直近で調査できる月とする。

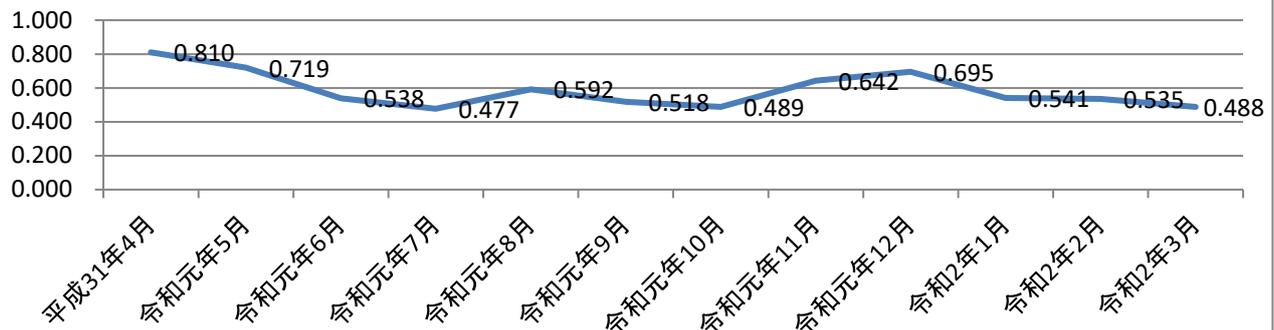
## 2-4-2

### 十分な時間のリハビリテーションが提供されているか

患者1人1日あたりリハビリテーション実施単位数 = D（測定月の実施総単位数）  
/ C（延べ入院患者数）

令和元年度	延べ入院患者数(人)(医療)	測定月の実施総単位数(単位)	患者1人1日あたりリハビリテーション実施単位数(単位)
平成31年4月	1154	935	0.810
令和元年5月	1268	912	0.719
令和元年6月	1222	658	0.538
令和元年7月	1343	641	0.477
令和元年8月	1176	696	0.592
令和元年9月	1124	582	0.518
令和元年10月	1193	583	0.489
令和元年11月	1092	701	0.642
令和元年12月	1214	844	0.695
令和2年1月	1214	657	0.541
令和2年2月	1212	648	0.535
令和2年3月	1180	576	0.488
合計/平均	14392	8433	0.586

### 患者1人1日あたりリハビリテーション実施単位数 (単位)



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

**領域4【リハビリテーション】**

- 【注】**1. 評価基準は、回復期リハビリテーション病棟とその他の病棟では異なる。  
 （ ）内の数字は回復期リハビリテーションにおける基準である。  
 2. 評価は直近で調査できる月とする。

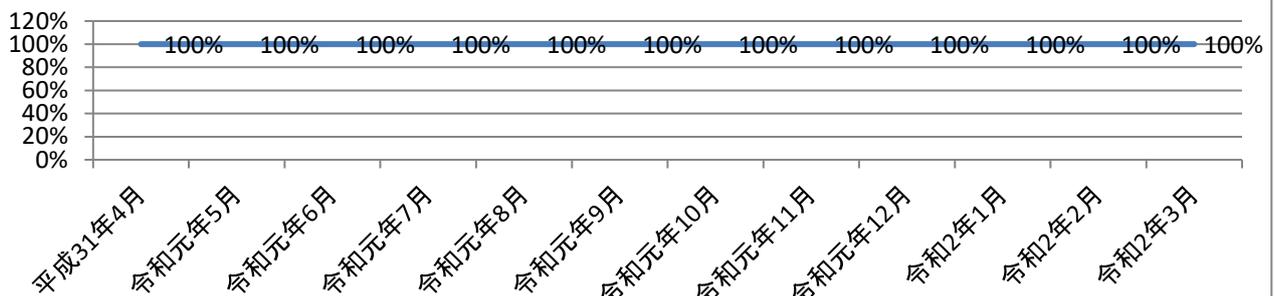
**2-4-3**

**多職種（リハビリ以外の職種も含めて）によるカンファレンス等にて、  
リハビリテーションの内容、頻度が検討されているか**

カンファレンス実施率 = C(カンファレンス実施患者数) / B(対象患者数) × 100

令和元年度	リハビリ対象患者数(人)	カンファレンス実施患者数(人)	リハビリテーション対象患者のうちカンファレンス実施率(%)
平成31年4月	38	38	100%
令和元年5月	40	40	100%
令和元年6月	36	36	100%
令和元年7月	40	40	100%
令和元年8月	36	36	100%
令和元年9月	31	31	100%
令和元年10月	36	36	100%
令和元年11月	41	41	100%
令和元年12月	39	39	100%
令和2年1月	39	39	100%
令和2年2月	40	40	100%
令和2年3月	31	31	100%
合計/平均	447	447	100%

## リハビリテーション対象患者のうちカンファレンス 実施率(%)



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

**領域4【リハビリテーション】**

- 【注】**1. 評価基準は、回復期リハビリテーション病棟とその他の病棟では異なる。  
 （ ）内の数字は回復期リハビリテーションにおける基準である。  
 2. 評価は直近で調査できる月とする。

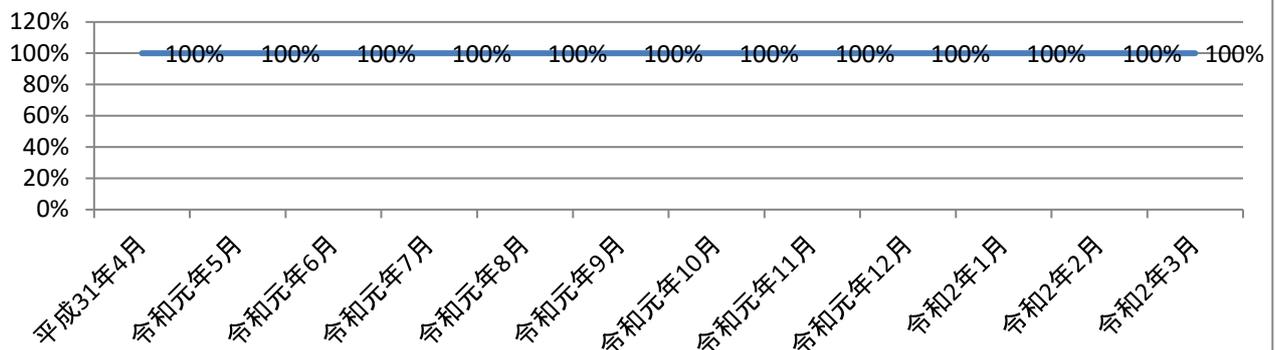
## 2-4-4

### FIM and/or BI等の客観的指標で患者のADL状態が把握されているか

$$\text{FIM and/or B等患者のADL把握率} = \frac{\text{C(1回以上の評価がされている患者数)}}{\text{B(対象患者数)}} \times 100$$

令和元年度	リハビリ対象患者数(人)	1回以上の評価がされている患者数(人)	リハビリテーション対象患者のうち FIMand/or BI等ADL把握率(%)
平成31年4月	38	38	100%
令和元年5月	40	40	100%
令和元年6月	36	36	100%
令和元年7月	40	40	100%
令和元年8月	36	36	100%
令和元年9月	31	31	100%
令和元年10月	36	36	100%
令和元年11月	41	41	100%
令和元年12月	39	39	100%
令和2年1月	39	39	100%
令和2年2月	40	40	100%
令和2年3月	31	31	100%
合計/平均	447	447	100%

### リハビリテーション対象患者のうち FIMand/orBI等ADL把握率(%)



## 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

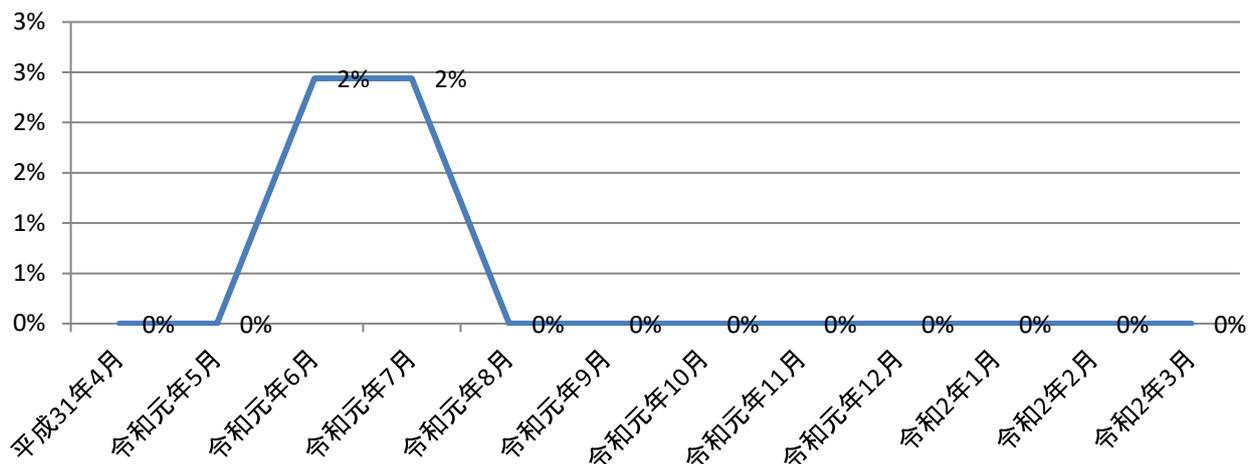
### 2-5-2

### 全入院患者に対する1ヶ月間の検査未実施率

検査未実施率 =  $C$  (1ヶ月間に血液検査、尿検査、X-P等のいずれも施行されなかった患者総数) /  $B$  (月末の入院患者数) × 100

令和元年度	月末の入院患者数(人)	1ヶ月間に血液検査、尿検査、X-P等のいずれも施行されなかった患者総数(人)	全入院患者に対する1ヶ月間の検査未実施率(%)
平成31年4月	42	0	0%
令和元年5月	43	0	0%
令和元年6月	41	1	2%
令和元年7月	41	1	2%
令和元年8月	37	0	0%
令和元年9月	38	0	0%
令和元年10月	38	0	0%
令和元年11月	35	0	0%
令和元年12月	37	0	0%
令和2年1月	40	0	0%
令和2年2月	43	0	0%
令和2年3月	34	0	0%
合計/平均	469	2	0%

### 全入院患者に対する1ヶ月間の検査未実施率 (%)



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

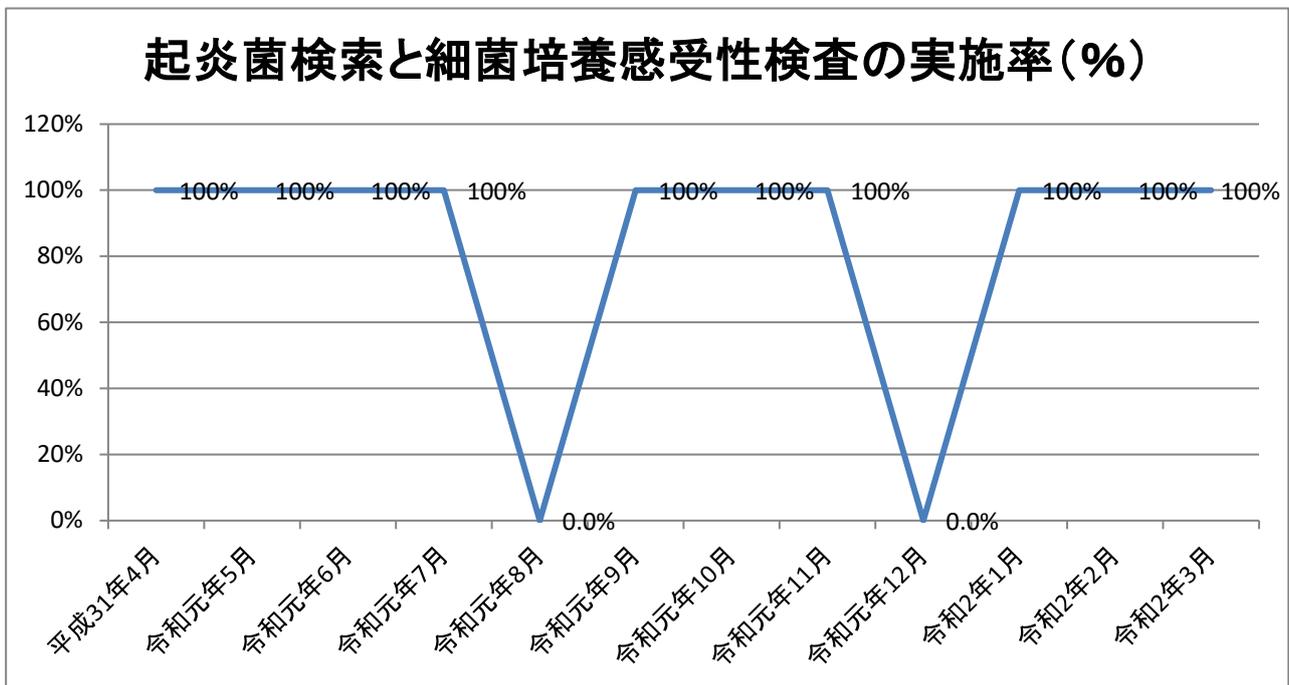
1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-5-3

### 起炎菌検索と細菌培養感受性検査の実施率

細菌培養感受性検査等実施率 = C(起炎菌検索および細菌培養感受性検査の実施件数) / B(新規罹患感染症数) × 100

令和元年度	新規罹患感染症数(人)	起炎菌検索および細菌培養感受性検査の実施件数(件)	起炎菌検索と細菌培養感受性検査の実施率(%)
平成31年4月	5	5	100%
令和元年5月	2	2	100%
令和元年6月	1	1	100%
令和元年7月	1	1	100%
令和元年8月	0	0	-
令和元年9月	1	1	100%
令和元年10月	1	1	100%
令和元年11月	1	1	100%
令和元年12月	0	0	-
令和2年1月	1	1	100%
令和2年2月	1	1	100%
令和2年3月	2	2	100%
合計/平均	16	16	100%



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

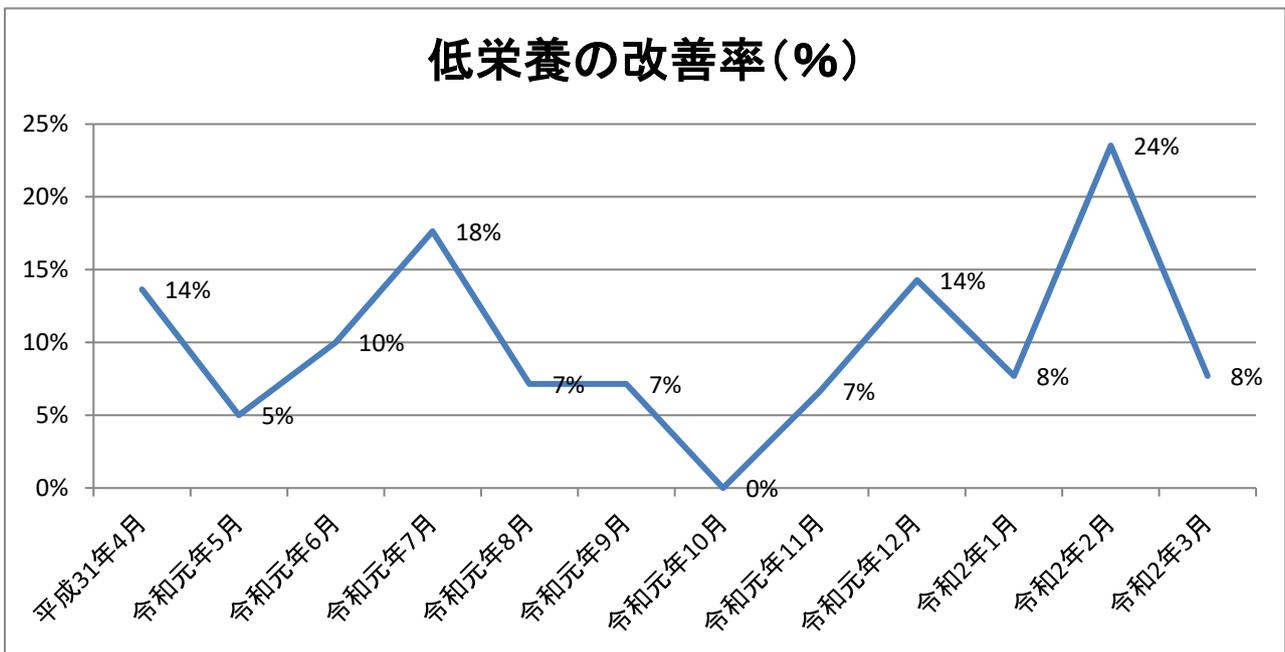
**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-6-5 低栄養の改善率

低栄養改善率 = C(2ヶ月以内にアルブミン値が3.0g/dl未満から3.0g/dl以上になった患者数) / B(起点日のアルブミン値が3.0g/dl未満の患者数) × 100

令和元年度	起点日のアルブミン値が3.0g/dl未満の患者数(人)	2ヶ月以内にアルブミン値が3.0g/dl未満から3.0g/dl以上になった患者	低栄養の改善率(%)
平成31年4月	22	3	14%
令和元年5月	20	1	5%
令和元年6月	20	2	10%
令和元年7月	17	3	18%
令和元年8月	14	1	7%
令和元年9月	14	1	7%
令和元年10月	15	0	0%
令和元年11月	15	1	7%
令和元年12月	14	2	14%
令和2年1月	13	1	8%
令和2年2月	17	4	24%
令和2年3月	13	1	8%
合計/平均	194	20	10%



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-6-6

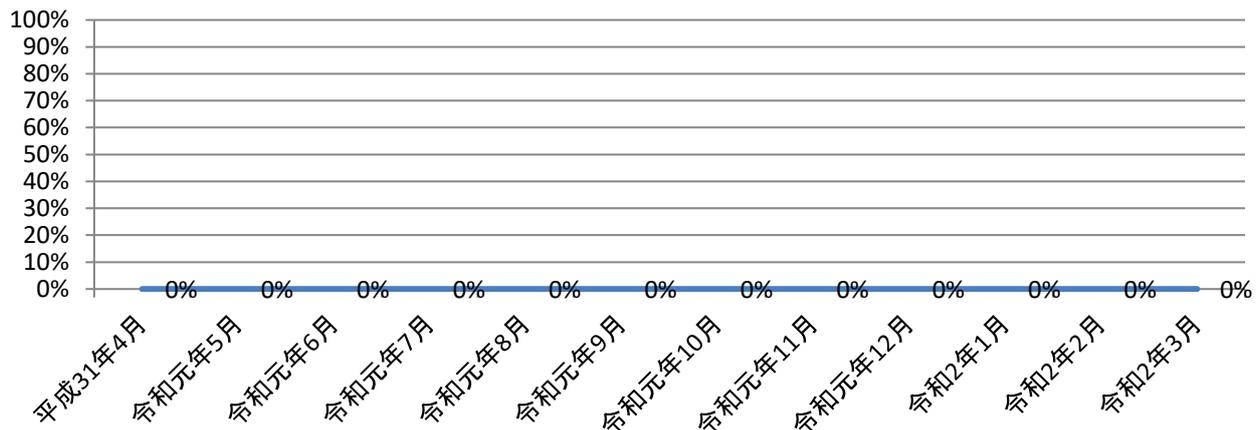
1年以内に経管栄養（中心静脈・胃ろう・経鼻）から経口摂取可能になった患者の割合

1年以内に経管栄養から経口摂取可能になった患者の割合＝

$$C(1年以内に完全に経口摂取可能となった患者数) / B(経管栄養患者数) \times 100$$

令和元年度	経管栄養患者数(人)	1年以内に完全に経口摂取可能となった患者数(人)	1年以内に経管栄養から経口摂取可能になった患者の割合(%)
平成31年4月	7	0	0%
令和元年5月	11	0	0%
令和元年6月	11	0	0%
令和元年7月	8	0	0%
令和元年8月	9	0	0%
令和元年9月	9	0	0%
令和元年10月	10	0	0%
令和元年11月	6	0	0%
令和元年12月	6	0	0%
令和2年1月	5	0	0%
令和2年2月	6	0	0%
令和2年3月	7	0	0%
合計/平均	95	0	0%

### 1年以内に経管栄養から経口摂取可能になった患者の割合(%)



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

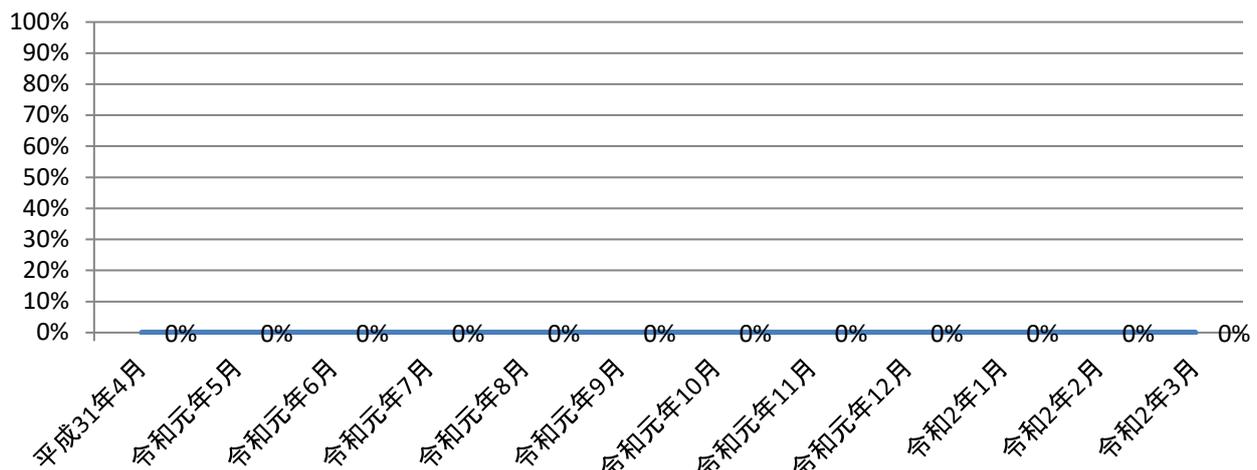
**2-6-7**

1ヶ月以内に経管栄養（中心静脈栄養・胃ろう・経鼻）から少しでも経口摂取が可能となった患者の割合（1口でも可）

C（1ヶ月以内に少しでも経口摂取可能となった患者数）/B（経管栄養患者数）×100

令和元年度	経管栄養患者数(人)	1ヶ月以内に少しでも経口摂取可能となった患者数(人)	1ヶ月以内に経管栄養から少しでも経口摂取可能と患者の割合(%)
平成31年4月	7	0	0%
令和元年5月	11	0	0%
令和元年6月	11	0	0%
令和元年7月	8	0	0%
令和元年8月	9	0	0%
令和元年9月	9	0	0%
令和元年10月	10	0	0%
令和元年11月	6	0	0%
令和元年12月	6	0	0%
令和2年1月	5	0	0%
令和2年2月	6	0	0%
令和2年3月	7	0	0%
合計/平均	95	0	0%

## 1ヶ月以内に経管栄養から少しでも経口摂取可能と患者の割合(%)



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-7-1

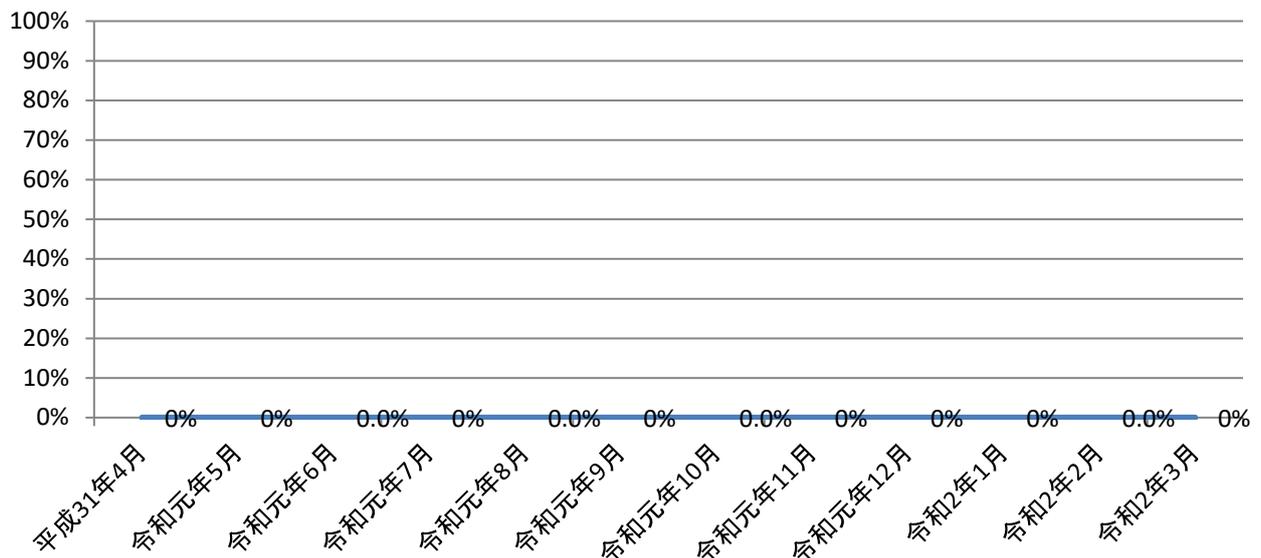
### 転倒・転落などによる重症事故（下記の定義）の発生率

重症事故発生率 = C（転倒または転落などによる重症事故の1ヵ月間の患者数）

/ B（転倒または転落の1ヶ月間の患者数） × 100

令和元年度	転倒または転落の1ヶ月間の患者数(人)	転倒または転落などによる重症事故の1ヶ月間の患者数(人)	転倒・転落などによる重症事故発生率(%)
平成31年4月	2	0	0%
令和元年5月	1	0	0%
令和元年6月	0	0	-
令和元年7月	3	0	0%
令和元年8月	0	0	-
令和元年9月	3	0	0%
令和元年10月	0	0	-
令和元年11月	1	0	0%
令和元年12月	1	0	0%
令和2年1月	1	0	0%
令和2年2月	0	0	-
令和2年3月	4	0	0%
合計/平均	16	0	0%

### 転倒・転落などによる重症事故発生率(%)



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

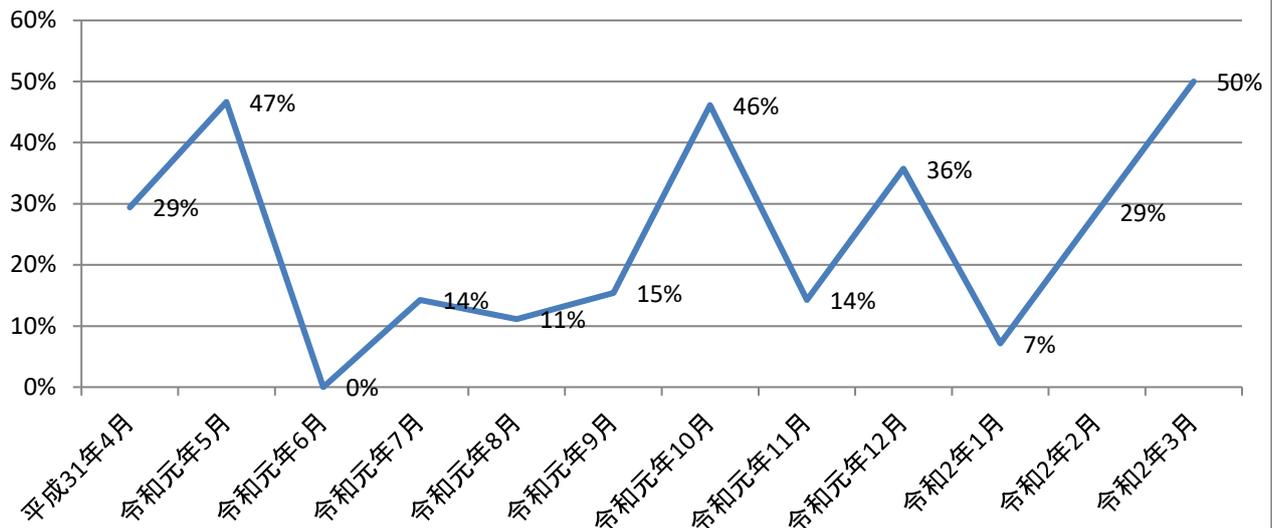
## 2-10-1

### 入院患者のうち急性期病院からの新規紹介入院患者数（紹介率）

新規紹介入院患者率 = C（急性期病院からの紹介入院患者数）/ B（全新規入院患者数） × 100

令和元年度	全新規入院患者数(人)	急性期病院からの紹介入院患者数(人)	急性期病院からの新規紹介入院患者数(紹介率)(%)
平成31年4月	17	5	29%
令和元年5月	15	7	47%
令和元年6月	10	0	0%
令和元年7月	14	2	14%
令和元年8月	9	1	11%
令和元年9月	13	2	15%
令和元年10月	13	6	46%
令和元年11月	14	2	14%
令和元年12月	14	5	36%
令和2年1月	14	1	7%
令和2年2月	14	4	29%
令和2年3月	4	2	50%
合計/平均	151	37	25%

### 急性期病院からの新規紹介入院患者数（紹介率）（%）



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

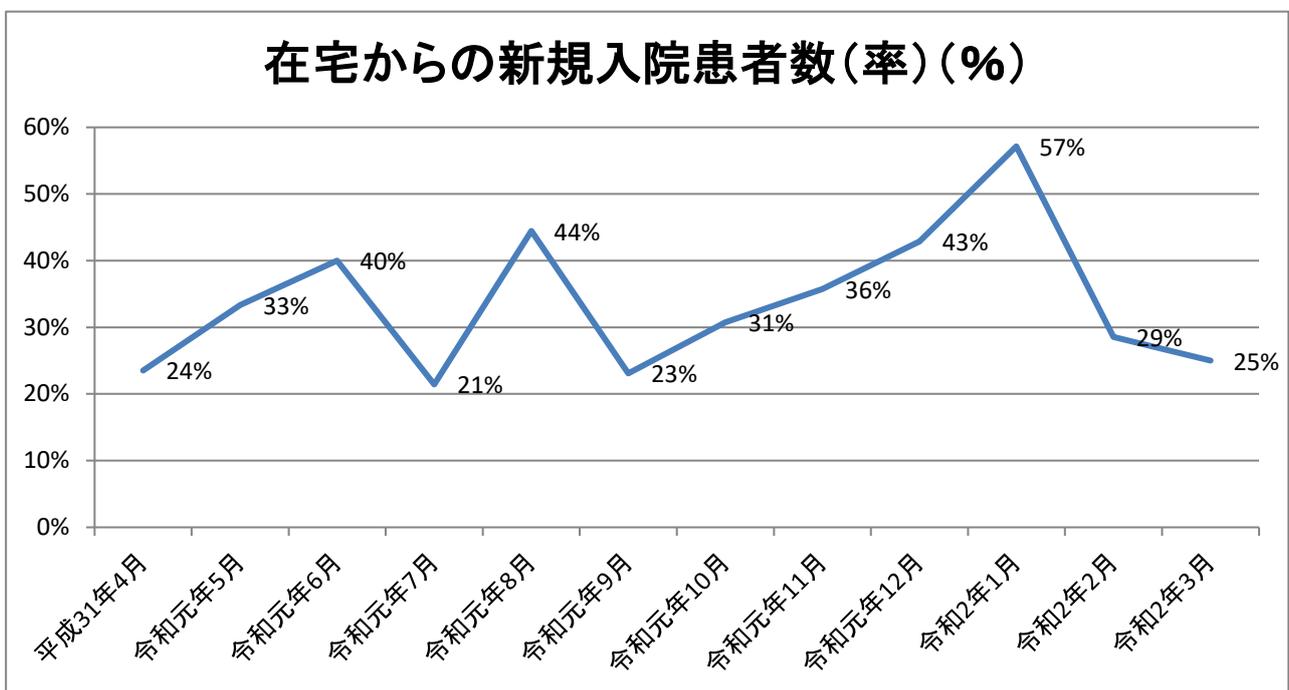
## 2-10-2

### 在宅からの新規入院患者数（居住系施設等を含む）

在宅からの新規入院患者数＝C（在宅からの新規入院患者数）

/B（全新規入院患者数）× 100

令和元年度	全新規入院患者数(人) (医療)	在宅からの新規入院患者数(人)	在宅からの新規入院患者数(率)(%)
平成31年4月	17	4	24%
令和元年5月	15	5	33%
令和元年6月	10	4	40%
令和元年7月	14	3	21%
令和元年8月	9	4	44%
令和元年9月	13	3	23%
令和元年10月	13	4	31%
令和元年11月	14	5	36%
令和元年12月	14	6	43%
令和2年1月	14	8	57%
令和2年2月	14	4	29%
令和2年3月	4	1	25%
合計/平均	151	51	34%



## 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

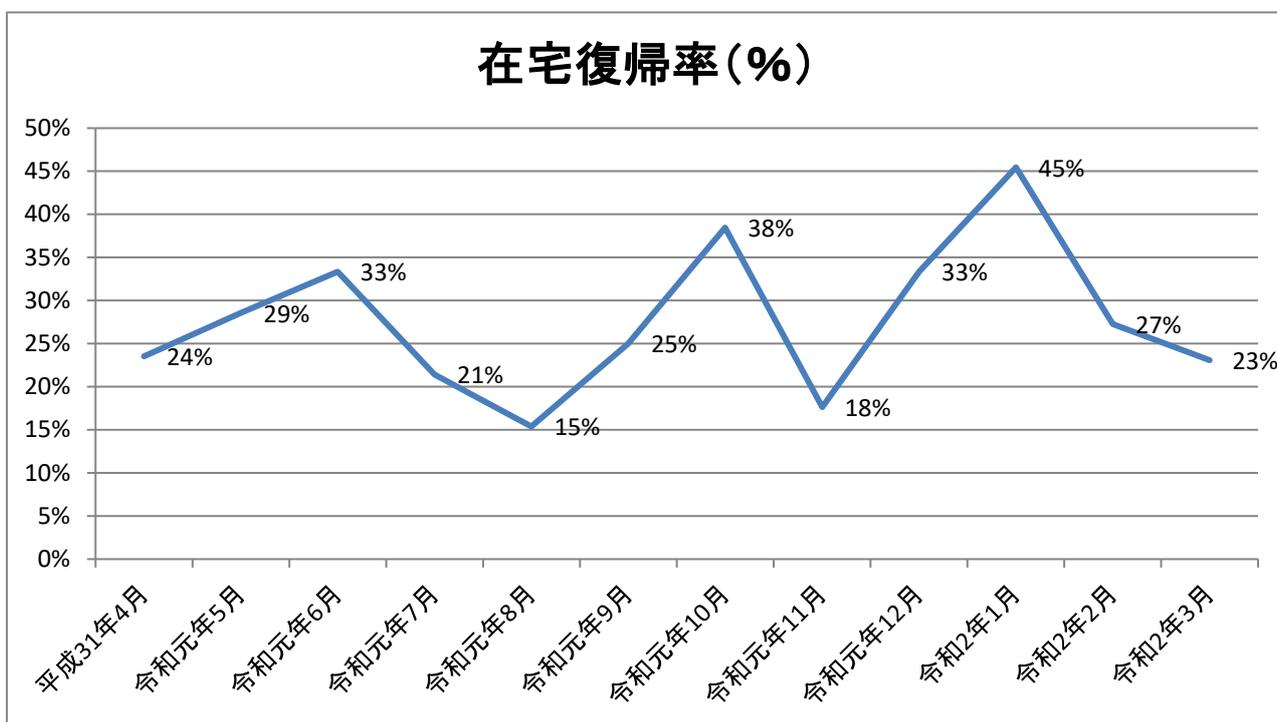
**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

### 2-10-3 在宅復帰率（居住系施設等を含む）

在宅復帰率 = C（在宅退院患者数）/ B（全退院患者数（死亡退院を除く）） × 100

令和元年度	全退院患者数(人) (医療)	在宅退院患者数(人)	在宅復帰率(%)
平成31年4月	17	4	24%
令和元年5月	14	4	29%
令和元年6月	12	4	33%
令和元年7月	14	3	21%
令和元年8月	13	2	15%
令和元年9月	12	3	25%
令和元年10月	13	5	38%
令和元年11月	17	3	18%
令和元年12月	12	4	33%
令和2年1月	11	5	45%
令和2年2月	11	3	27%
令和2年3月	13	3	23%
合計/平均	159	43	27%



# 日本慢性期医療協会 慢性期医療の Clinical Indicator（病棟臨床指標）

**【注】**

1. 評価期間中に退院（転棟、死亡含む）した患者は原則として評価対象から除く。
2. 分母が「0（ゼロ）」の場合は「NA」とする。
3. 評価期間は原則として直近6ヶ月のうち連続した3ヶ月とする。

## 2-10-4

### 多職種による退院カンファレンスを実施しているか

カンファ実施率 = C (5職種以上の退院カンファレンスを実施した患者数)

/ B (全退院患者数) × 100

令和元年度	全退院患者数(人)	カンファ実施患者数(人)	多職種カンファ実施率 (%)
平成31年4月	17	5	29%
令和元年5月	14	2	14%
令和元年6月	12	4	33%
令和元年7月	14	0	0%
令和元年8月	13	2	15%
令和元年9月	12	3	25%
令和元年10月	13	2	15%
令和元年11月	17	2	12%
令和元年12月	12	1	8%
令和2年1月	11	4	36%
令和2年2月	11	2	18%
令和2年3月	13	2	15%
合計/平均	159	29	18%

